

議 員 総 会 会 議 録

日時：平成25年4月16日（火）

場所：全員協議会室

午前10時00分 開 会

○石川英之議長

ただいまから議員総会を開会します。本日の議員総会については、協議題1の議会報告会についてと協議題2のその他ということになっておりますけど、協議題1の議会報告会については、2部構成といいますか、前後半にわけて行いたいと思います。前半の部分に関しましては、前回お話をさせていただいたように、この議会報告会を通じて、今後議会として取り組むべきことがあれば、ここでご意見をいただいて、皆さんの総意の元、議会として取り組みたい。併せて、当局に提言することがあれば、提言若しくは要望をしていきたいと。あくまでも議会報告会については、冒頭に司会の方が言うように、要望の会ではないということでもありますので、そんな要望ばっか聞いてどうするんだということもあろうかと思いますが、いろんな話の中で、いくら市民の要望であろうとなんであろうと、議会として取り組むべきことではないかとい事を、前半の部分で議論をしていただきたいと思います。後半に関しましては、1年間を通じて、議会報告会を何度か重ねてまいりましたけど、議会報告会全般に関してのご意見をいただきたいと思います。この後半の部分に関しましては、議会報告会については、今まですべて議会運営委員会の正副委員長に、ある意味丸投げでしたので、議会運営委員長の方で取り回しをしていただきまして、今後の議会報告会を今後どうすべきかということも含めて、さまざまなご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、協議題1、議会報告会についてを議題とします。議会報告会についての前半の部分、今後議会として取り組むべきことがあるかどうか。それから、当局に対して、要望、提言をしたいということがあれば、ご意見をいただきたいと思います。

○山本半治議員

報告会の中で、いい意見だなと思ったことがあったものですから、岩滑のときに防災無線の内容によって音を変えるというのは、非常に市民の方してみれば、わかりやすいことじゃないかなと。尚且つ今防災無線の音が聞きにくいということを聞いていますから、そんなことを提言としていただけるとありがたいかなと思いました。

○渡辺昭司議員

岩滑の議会報告会の時に、半田池のことなんですけど、山本半治議員の代表質問等々でも、当局からの答弁がありましたけども、地域並びに矢勝川の環境を守る会の皆様等々に、具体的な内容のことがしっかり伝わってないということがありましたので、住民説明会という形になるのか、もう少しきちとした対応をしてあげるような形で何かいい方法がないかなと、ちょっとお願いが出来ればなと思います。

○沢田清議員

乙川で出た、市全般に関する質問の中で、スマートフォンやタブレットの、要は公共施設にもワイファイを整備しというところ、新庁舎を待つのではなくて、すぐにでも始めた方がいいのかなと思いますので、よろしくお願いします。

○山田清一議員

今、沢田清議員からもありました、ワイファイの整備につきまして、私もこれは是非とも進めていただきたいなと思いました。そこで、調べましたら、半田市におきましても、無線LANサービスということで、半田福祉文化会館、これは整備をされているということでございました。これは半田市のホームページ上にも載っております。そしてまた、フリースポットということで、乙川交流センターニコパルについても、フリーモバイルスポットということで、整備されているということで、きっとまだこの部署しかそういった取り組みがなされていないかなと思いますので、これを半田市の公共施設全体に広げるべきという、そうした提言をお願いできればなと思います。

○松本如美議員

前回の時に、要望すると言っていたもんだから、議会として要望するのはどうなのかという気がしています。それはやっぱり、議会報告会というものが、その議会報告会で市民と意見交換しながら、議会として受け止めるべきものは何か。議員として受け止めるべきことは何かということが、しっかり受け止められればいいのかと思います。議会基本条例もそういった立場で書かれていると思っていますから、今出たような要望という話ですけども、書き方次第ですけども、議会としてきちっと文書にして出すというより、議長と市長が懇談するなかで、こういうことがありましたっていう状況報告の中でやるとかした方が立場上いいんじゃないかという気がするんです。それは議会報告会という性格からしたときに、それをそのまま受けて、市長に、市民からこういう意見がありましたと流すのは、ちょっと余りにも直線的すぎて、議会の重さというか、そういったところをもう少し深めて、議会報告会は私たちの主体的な市民との接点の場であって、その中から出た意見を出ましたと言って出すんじゃなくて、議長が市長と懇談する場はときどきあると思いますので、そういう時に、こういうことを意見として持っているよと。市長の方としても一定の配慮、工夫をしてはどうかということの提言的な話の方が、議会の体面上いいんじゃないかなという気がします。

○中村宗雄議員

僕も松本議員に考えが近くて、これをどういうふうに取りまとめていくべきなのかなと考えています。例えば、岩滑会場でありました、防災行政無線が聞こえない人は、電話をしてくれよと。そうすると聞けるからと。でもそれは有料ですよ。本来、聞けるためにつけているのに聞けない人はお金を払って聞けっていうのは、本来おかしいよね。なんでこれは無料じゃないんだと言われれば、そうだなと思いました。その中で、先ほど出たワイファイの話もそうなんですけども、できることとできないことがありますして、先ほどのワイファイなんかは、僕らの感覚だとやればいいじゃないという感覚なんですけど、実際庁舎の3階フロアをやろうとするだけで、電波干渉をするんですって。今全部無線でやっているもんですから、新しい

庁舎は全部有線でやるそうです。それをフリーでやると、電波干渉を起こして、仕事の効率がめっちゃめっちゃ落ちるような懸念があるもんですから、現実できないだろうなど。そこら辺をどう精査して、当局側にこういう意見を伝えるかっていうルール作りが出来てないもんですから、先ほど松本議員が言われたように、こんな意見があったと直線的に伝えれば、議会として脳が無いだろうし、知らずに言っているのも恥ずかしいことになってしまいますので、そこら辺をうまく、何と何をどう伝えるかっていう方法を考えるべきだなというふうに思いました。

○石川英之議長

他にありませんか。

【発言する者なし】

ないようですので、しばらく休憩します。

午前10時08分 休 憩

午前10時29分 再 開

○石川英之議長

会議を再開します。防災行政無線についてと、それから公共施設にフリーモバイルスポット等のワイファイの設置ということ、当局に何らかの形で要望、お願いをしていくということで、ご異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

ありがとうございます。

○新美保博委員

今の2点でいいですけど、要望していくならそれは結論としてはいいけど、そのことをどのように伝えるかっていうのは、どこでやるの。要は、報告会でそういった意見を聞いた。ある意味ヒントをもらったと。議会としては1つ意見をまとめた。要望をする。要望をしたことをどういうふうに、聞いた人に、あそこにいた人は聞いているわけだからということがある。答えとしてね。多くの場合、要望でも何でもないんだけど、例えば公共施設白書で順番はどうだと聞かれた時に、答えたのは、公共施設白書ができたので、これから優劣順位をつけていきます。できたときには報告しますよということで、答えた。それから、すごいマイナーな話であるけど、一方通行の話があって、なんで一方通行が急にかわって、どうのこうの。それについては、ちゃんと調べてからお答えしますということをしているんだけど、どこでどう答えるの。その答えをどこで出せばいいのかなと思う。単純に答えを出しちゃうと、御用聞きになっちゃうような気がして、あまり出したくないなという思いもあるけども、一応みんなの前で約束したことはやらないと、半年も一年も経って答えが出なかったっていうことがネックだと思う。

○石川英之議長

ありがとうございます。議会報告会の市民の皆様からの質問に関しては、答えられるものはその場で答えて、答えられないものは、後日という形で、確か亀崎中学校の時にも言ったと思うんですが、ホームページ等で掲載させていただきますということは、当時言った覚えがありますので、今後もそういった形で載せたいと思っています。

○中村宗雄議員

みなさんご存知だと思いますけど、以前橋梁の補修はいったいどうなっているんだと。順番を明確にして言いますねっていうことを、議会だよりで、こういう意見のもとということで、やらせていただいたんですね。ですので、そういう形や報告会できちんと伝えていけば、議会だよりが僕らの紙面ですので、自由に使えるわけですから、そんなところでやっていけばいいと思います。

○石川英之議長

今議会だよりという話がありましたけど、紙面上で何ら問題が無ければ、そういう形でもどんどんと発信をしていけばいいと思っていますので、よろしくお願いします。それでは、前半の部分に関しては、以上とさせていただきます。議会運営委員長、よろしくお願いします。

○澤田勝議員

それでは、議会報告会についての後半の部分についてということで、お配りしました資料をご覧ください。平成 24 年度の議会報告会の開催の記録が記載してあります。去年の 7 月が、平成 24 年度の第 1 回目でしたので、記憶が薄れているということもありましたので、説明させていただきます。

【資料に基づき説明】

この今年度の議会報告会について、例えば反省点ですとか、できれば改善点をいただければ、今後の議会報告会につなげていきたいなということを考えていますので、忌憚の無いご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いします。

○松本如美議員

委員長にご無理を言いまして、議会報告会の記録をした方の全部の文章が欲しいと言って、いただきました。みなさん手元にあるのは、意見としてだけ出でいますけど、それでは不十分かなと思って、全部くださいと言っていただいたんですけど、最初の時も言ったんですけど、議会報告会は、僕らがそこに市民との接点を設けて、そこで出た意見を議会でどう咀嚼していくか、議員としてもどう受け止めていくかっていう市民との接点の場だと思っています。そうした時に、たまたま、今回は特になんですけど、同じ日にわかれてやっていたもんだから、一方のところがまったくわからない。一回目、二回目は質問があって、誰々の議員が質問に対して、こう答えましたよっていう全部物語が出来ていたんだけど、最近全くないもんだから、2 ページにわたって、裏表で作りましたけど、個人の感想も大事なことですけど、要はそのときの意見交換会がどういう流れで、どう答えたかっていうのも含めて、記録としては残した方がいいのかなと思いました。そうすると、後で見るとき、あるいは、その時の答えたところが、例えば不十分だったときに、自分だったらこうしなきゃって思ったりすることもあるもんだから、そういうことも含めて、記録はやっぱり記録として作った方がいいのかなと思いました。分量は別にしても、市民の発言、こちらの回答は残した方がいいかなと。感想ではなくて、レポートではなくて、記録としてちゃんと残した方がいいのかなと思いましたので、よろしくお願いします。そのことによって、これから何回もいろんな地域でやるとすると、同じ日にやるとまったく、さっきも言ったようにわからないと、そのまま過ぎていっち

やうもんだから、できるだけ臨場感のある記録を残した方がいいのかなとおもっていますので、可能ならそういう記録の仕方に統一していただけるといいのかなと思います。

○澤田勝議員

ありがとうございます。今までの記録が全部残っているかはわかりませんので、今回残っている、7回、8回、9回のものに関しては、たぶんデータがまだ残っていたと思いますが、できれば今おっしゃった、各市民からの意見、それについての答えを、簡単に要約してみたいと思います。そしてこれをデータとして、タブレットで各議員から見えるように、共有していますので、議会報告会のフォルダ、あるのか作っていただくのかわかりませんが、情報を共有するということで、掲載したいと思いますが、いかがでしょうか。

○中村宗雄議員

議会報告会をここまでやってきまして、当初は議員が市民に伝える場面が非常に多くあった中で、だんだん参加人数が少なくなっているんですけど、意識の高い市民の方が、マニアの方じゃなくて、意見を言われる市民の方の参加が今回特に多かったなと。その中で、やはりいくら報告書を書いていただいても、そこにいる臨場感というか、ライブと記録は違うんですね。ですので、無理して、2つにわかれてやれる能力が我々にはあると思うんですけども、2つに分かれてやる意味があったのかなと、今痛切に思います。というのは、岩滑でやったあの場面っていうのは、共有できているんですね。皆さんが防災無線の話や半田池の話はわかるんですけども、分かれてやった部分は、いくらどんだけ言われてもわからないんですよ。空気が。ニュアンスが違うというのか、そういう部分が。だから、回数をやるっていうことと、我々が日にちを割きたくないから、分かれてやろうかっていうことを目的でやっているならば、やはり全議員参加のもとやった方が、みなさんが同じ共通が持てる。分かれてやればやるほど、分かれたチームで認識が分かれていくんですね。そこは大きな問題かなということが、1点。そして、もう1つは、だんだんこういう成熟した意見を話すようになってきますと、あなたは思うのっていう個人の意見を求める機会が、今回も多かったと思うんですね。あなたは思うのか。その中で、議会としての意見と個人の意見をきっと、われわれは区別して言ってるつもりであっても、市民の人からしたら、こんなことを言っていたと、議会の総意に取られてしまったり、きちんとした区別がされないまま、言葉だけが残っていつてしまう。そういうところをどういうふうに色分けしていくのかっていうところが、僕は今後の課題なのかなと思います。

○澤田勝議員

今、新たな課題ということで、意見をいただいたと思いますけども、前段で松本議員から言われました、議会の情報の共有ということです。今回については、共有すべきかということもありますけども、できるだけ共有する、今回2箇所です同時開催をしていますので、そういう意味では今回の情報は、拾えるだけ拾ってみたいと思います。今後につきましては、今中村議員がおっしゃったように、同時開催がどうなのかというご意見も頂きました。そして、議会としての意見、議員として

の区別については、今後の課題ということで、取り上げさせていただきまして、これも申し送りということにさせていただきたいと思います。課題ですとか、反省点、改善点をいただければと思いますが、ほかにありませんか。

○新美保博議員

記録のことですけれども、記録ってテープで録ってないの、録音ってしてないの。

○澤田勝議員

I Cレコーダーで録音してます。

○新美保博議員

そのテープ起こしは誰がやってるの。記録係の人がやってくれたわけ。

【発言する者あり】

○澤田勝議員

基本的には要点筆記で依頼しています。しばらく休憩します。

午前10時40分 休 憩

午前10時45分 再 開

○澤田勝議員

再開します。今の音声に関しては、今後についてですけれども、I Cレコーダーで録音しますので、今タブレットで書面での情報を共有しようとしている段階で、音声ということもおそらく物理的に可能なのかなと思うんですが、これはわかりませんので、可能かどうかも含めて、可能であれば音声も共有したいと。聞けるように、ハード的なソフト的なこともありますので、聞けるような環境にしたいと思いますが、システム上可能かどうか、今の段階でわかりませんので、そこについては預けていただきたいと思います。

○小出義一議員

ホームページに載せるっていう感じですか。

○澤田勝議員

議員間での情報の共有です。

【発言する者あり】

書面データについては、ハードディスク、仮想データっていうんですかね、グーグルドライブの仮想データに保管する媒体に保管しますけれども、音声データも同じように行えば、費用をかけずに出来るかと思いますので、例えば違うカセットテープだとかにすると、逆に費用が発生すると思いますので、今の書面での状況共有と同様に音声データを共有するようにシステム上していきたいと思いますが、不可能でありましたら、別としまして、可能であればやっていきたいと思います。これにご異議ございませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

総意でよろしいですね。ありがとうございます。そして、課題としてご提議いただきました同時開催につきましては、やはり議員としての共有といいますか、難しいところがありますので、同時開催しないというご意見、同時開催をしないという方向でまとめたいと思いますけれども、同時開催についてはいかがでしょうか。

○山本半治議員

私は、どんどん外に出ていくっていうのは大事なことだと思っていますから、それこそ伊賀市に見に行った時には、6人くらいの議員が1つのチームでやっておりましてですね、じゅうぶんいいなという形があったもんですから、私は気持としては、少ない人数でどんどん地域に出向いて、ぐるぐる回していけば、みんなに負担がかからないと思うんですね。みんなでやるものですから、ものすごい負担がかかってるんですよね。だからみんなで分けてやっていけば、年に1回そこでやるだけで、順番で回っていけばいいもんですからね、私はちょっとわけてみんなでやっていただけたらいいんじゃないのかなと思います。

○澤田勝議員

開催については、他にご意見ありませんか。

○中川健一議員

私も山本半治議員と同じ意見で、あんなにたくさんで準備しなくても、例えば、問題は一言もしゃべらない人が何人も議員として出てくるんですね。それよりもやっぱりみんなが、我々しゃべるのが仕事だもんですから、もうちょっとしゃべる機会が増えるためにも、少人数でいろんなところでやれるなら、私もその方がいいんじゃないかなと思います。ちょっとあまりにもみなさんかたく考えすぎじゃないかなと。我々役所じゃなくて、議会なんで、もうちょっといろいろフレキシブルに、話ができることの方がいいんじゃないかなと思いますので、僕は少人数でいろいろやれる方がむしろ良いんじゃないかなと思います。

○中村宗雄議員

考え方をきちんとしてから、同時開催か単独開催か決めた方がいいと思うんですけど、何を一番大事にするかで決まってくると思うんですね。やる回数だというのなら、やる回数は最大、議員の使う時間は最小というふうに考えれば、分散して3人くらいのチームでやっていくのがいいですけども、そういう分散してやった時の弊害といったら、さっき言ったように、情報の共有化がだんだんはかれなくなってくるから、分散した数だけ情報をいかに共有していくかっていうことで、大変なことが待っているということだけですよ。何が大事なのかっていうところが先に決まってなくて、単独開催がいいか、同時開催がいいかっていう議論をすると、個人の趣味の問題になってくると思うんですね。中川議員が今言われたみたいに、意見を言う議員がいるかないかっていうのは、参加している議員の数の問題ではなくて、それぞれの役割の振り方の問題であって、例えば回数は最大、議員の時間も無制限だというのなら、毎週毎週やっていけばいいんですね。議会報告会を。それは、自分たちが嫌だよと。でもとりあえず地域で回数だけアリバイ的にこなさなきゃいけないっていうのなら、分散して数だけやったっていう実績は残りますので、そのかわり共有はされてませんよと。だから、何を取るか取らないか先に決めてから、その手法を選択した方がいいと思います。手法からいきますと、結果がついてこないと思いますので。

○松本如美議員

私もそんなにむきになってやるタイプではありませんので、あれですけども、個

人的にも市政報告会やっていますし、必要ならばそういうことでやればいいなと思っています。議会としてやるには、議会としての、今の中村議員じゃないけど、意味があるなと思っているもんだから、そのときどきの課題だとか、それからやっぱり、地域を回っていけばいいのかなと思っていますから、回数ではないなと思っています。参加する人数は、ある意味市民の意識の問題ですから、たくさん集めないってというのは、来てほしいっていう気持ちはありますけど、乙川ではちょっと力入れましたけどね。若干お願いしたもんだから。だけでも全体としては、議会として、年間に2回とかね。一定の中でこなしていく流れを続ける方が、いいのかなと思っていますし、そういう意味では記録の環境も含めれば、発言する人がいなくても、ちゃんと聞くということで、会場の中で市民の声を聞いて、自分の中で租借をしていくってことがあればいいのかなと思っていますから、一定の期間を置きながら、議会全体で取り組んでもいいのかなと。その方が、ぶれは無いなという気はします。必要なら、個人で、それぞれ支援者の方もいるだろうし、それから一般の市民向けに報告会をやって、個人の議員としても頑張ればいいなと思っています。

○成田吉毅議員

情報の共有っていうところで、今回乙川と成岩で初めてわかれてやった中で、問題点として、自分のいなかったところがどういうふうな流れで行われたっていうところがわからないというところが問題点として、今あがってますよね。その中で、やはりもちろん、地域とか市民の方たちと、たくさんの時間、接点を設けて、やるっていうのはいいことだとは思いますが、先ほどお話が出たように、議会としての意見と、個人としての意見で言うのが、その辺のラインがやっぱり、我々があったとしても、市民側の受け取り方としては、すべてが議会としての意見、議会報告会なんですよっていうことですので、やはり少人数過ぎて、地域に行くのであると、個人懇談会的な雰囲気になってしまって、議会報告会としてはちょっとどうなのかなというふうに思います。あとあと、情報の共有っていう部分で、かえって時間を取ってしまうんじゃないかなと思います。そちらの方の作業が膨大になってしまうので、かえって時間がとられるんじゃないかなって感じます。

○澤田勝議員

今のいろんな意見をお聞きしますと、そもそも議会報告会でありまして、議員報告会ではありませんので、回数も含めて、どうあるべきかということで、今回、今年度行ってきたのは、スタンスとして、各地域での課題ですとか諸問題を、地域に出向いて意見を伺うと。要望を聞くということではなく、どういった課題があるのか、問題があるのか、出向いて聞く、伺うというスタンスで今回6回行ってきました。この回数に関しましても、各議員意見が違うと思いますので、今回これをまとめるということは、不可能だと思っています。そして、この回数とか、開催についてももう少し意見を出していただいて、それを参考にさせていただき、来年度にどうしていくかということは決め、参考の意見としてお聞きして、今日のこの段階で、平成25年度の議会報告会を、どこで、何時から何回やるかということは、決められないと思いますので、もう少し開催の回数、同時開催についてご意見をいただきたいなと思いますので、他にありませんか。

○新美保博議員

たまたま今回は、テーマは政務活動費というところがあったもんですから、このテーマを見る限り、随分の人たちから言われる言葉が、議会が何をやっているかわからないとか、議員は何やっているんだとか、他のこともそうだけど、そういう意見が、もうほとんどを占めていたのかなという感想を持っています。ですから、もともとこの議会報告会は、どうしてやるんだっただろうかと考えていくと、おそらく来た人を見てもらえばわかるけど、区長さんとか、区の役員さんとか、一般の市民の人たちは数人しかいなかったっていうのが現状だと思う。来ている人達の想いは、議会が報告会をするから見に来てやったぞとか、聞きに来てやったぞっていうスタンス。そういったところからすると、報告会で報告する議会としては、こういう定例会でこういう意見がありましたっていう報告はやればいいのかと思う。この意見交換会のボリュームがだんだんだんだん増えてきちゃって、意見を聞くことになっちゃったんだけど、意見が言いたかったら言いに来てやというところに議会は位置を位置づけしておかないと、いつまでたっても議員が何をやっているかわからない、傍聴が少ないのは議会のせいだと。みんな議員のせいだなんて言われる。先ほど出たように、本当に聞きたい意見があるなら、自分で聞きに来てくれないといけない。何か意見が言いたかったら言いに来てくれないといかん。言いに来てくれないっていうのは、言い方がおかしいというか、きついかもしれないけど、やっぱり議員のせいばかりではないし、市民の人達も興味があって、それなりの意見があるなら、言ってもらわないと、お膳立てするから言いますよっていう話ではないような気がする。そこで、そこらからもう少し考えていかないと、どこまでいっても窮屈な話になっていっちゃう。回数増やそうがどんなシステムでやろうが、議員は何をやっているんだとどんどんつきつめられていって、身動きが取れないようになっていっちゃう。決して、だから一般の市民は、そんなことを聞きに来ていないわけじゃないということである、そういう市民を作りたい。区の関係者の人達なんて、わかっているから来なくていいんだけど、人数がいらないから来ちゃうわけ。例えば、8割も9割もそういう人たちが来る議会報告会というものは、どういうものかっていうことも考えないといけない気がする。今まで2年やっているんだけど、この間でどうだったっていうこともやっぱり考えるべきかなって思っている。こちらのアリバイ作りとか格好のためだけに、議会報告会をやっているというところで、いいのかなと。本体見透かされちゃって、そういうところも考えてもらって、今後につなげた方がいいように思っています。

○澤田勝議員

他にご意見ございませんでしょうか。

○中川健一議員

いろんな考えがあると思いますんで、ちなみに僕は役所のチェックを議会としてどうやってやっているかということや、予算どうだったか、決算どうだったかということや、なかなか議員と個人的なコンタクトが無い場合に、なかなか議会に対してものが言いにくいという人は、参加をして議会に意見を言う場、この2つの意味があると僕は思っているんですけど、そういう意味で

は、議会報告会は有意義な場であると思いますので、これからもきちっと続けていきたいなというふうに思っています。細かいところはいろんな意見があると思いますから、僕は回数のこととか、開催のことについては、もうちょっと、当面執行部の方たちで考えていただければいいのかなと思っているんですけど、現状でもう少しこやったらよくなるかなっていうことについて、ちょこっとだけご意見が言いたいんですが、僕は知った人が参加してご意見をいただいたので、とりあえず人数は、すごい少ないねっていうのは、言われるので、人数だけじゃないっていうのはわかるんですけども、それはやっぱり存在意義としては、多少考えた方がいいのかなと。参加を、動員をかけるのではなくて増やす方法があればですけど、やっぱりそれは努力をしないとイケないのかなというふうに感じています。あともう1個は、市長のタウンミーティングの時は、プロジェクターとかを使って説明しているんですね。議会報告会の場合は、紙で配っているだけなので、もしかしたらそういうビジュアル的な説明をできるならば、した方がいいのかなと、そういうご意見をいただきまして、なるほどなと思いましたので、ご披露させていただきました。

○中村宗雄議員

ちょっと頭を切り替えて、考え方を変えた方がいいんじゃないかなということを思いました。今までみたいな、公共的な建物で、会議をやるっていうことが、議会報告会だと思いこんじゃっているもんですから、じゃあここに、中川議員が言われたように、どう集めるんだと。人が少ないのに、どう集めるのっていうと、動員しれないですよ。そういう発想じゃなくて、180度頭切り替えたら、例えば、産業まつりのステージのところに、議会が1時間借りてですね、人の集まっているところでやるだとか、発想を転換していかないと、我々にはその人を集める力がないんですよ、きっと。だから、人のいるところでやれば、違った意味でいろんな、議会が何やっているのか、みなさんが一番今不満や不信に思っているところかもしれないし、そういう場面の議会報告会的なことと、こういう閉鎖された空間の中でやることを使い分けてみるとか、いろいろな本来方法が取れるわけですので、今の方法に固執しない方が、今までやってきとことを否定する気は全然ありませんし、これはこれでいいと思いますけども、今後、この先もこの方法を踏襲していかなくちゃいけないなんて思っているから、手詰まりになっていくのかなと思いますので、もっと自由な発想でやればいいのかと思いました。

○澤田勝議員

今の意見は、おでかけ委員会じゃなくて、例えばこちらから出向いて、例えばどこかの団体ですとか、そういう柔軟的な発想を持ってということではよろしいでしょうか。しばらく休憩します。

午前11時 4分 休 憩

午前11時10分 再 開

再開します。他にありましたら、もう少しいただければと思います。

○沢田清議員

議会基本条例の中に報告会の回数は、うたわれていませんよね。定例会の報告に興味持って聞いている市民はほとんどいないなというふうに感じています。だけど

も、報告会といわれる以上は、報告しないといけないから、この常任委員会の報告はしなければいけないというのも、わかっていますけども、だから最初から比べると、だんだんだんだん短くなってきたのはわかりますけども、もう少し内容を変えてもいいのかなと。パワーポイントで簡単に伝えながら、部分的に教えて、こうなりました、こういう問題があつて、こうなりましたという結果だけ報告しておいて、あとは、意見交換会で、意見交換会はどうしても文句の言われっぱなしを、当局側になったような感じになるときもあるし、議員としての提言だとか、想いを伝える場面もありますけども、もう少し市民のみなさんに興味をもってもらうことを、どう考えるのかを先に考えた方がいいのかなというのは、自分の意見はまだないので、これくらいしか言えないですけども、思いました。

○中村宗雄議員

この議会報告会の回数の話とか、どうやってやるかっていうことじゃなくて、何を求めていくかというところが、例えば、自治体議会改革フォーラム。ホームページ見てもらうとよくわかると思うんですけど、これからのキーワードは、対話だそうです。市民と議会の対話をどう作っていくか、ですから議会報告会が、議会基本条例でどう定められているかっていうと、もちろん条例のとおりだと思いますけど、一番出来てないことは、対話だと思うんですね。市民と議会の対話っていうのができてなくて、昔はこちらが言っぱなし、今は言われっぱなし。対話を作っていくために何をやっていくかっていうのを、もちろん報告する義務はあるわけですので、義務を果たす中でやっていくんですけども、下地が報告であつて、その次に対話が生まれてくるのかなと。意見交換っていうのも、今意見交換になってませんもんね。対話できる関係をどう作るかっていうことが、キーワードだと書いてありましたので、その辺を踏まえて、回数ややり方を、もしくは求めるものを決めてから、回数ややり方を考えた方が、何を求めるかっていうところが、一番大事なのかなと思います。

○澤田勝議員

いろんな意見をいただきまして、ありがとうございます。今日この段階で、次回の議会報告会どうするかという結論を出す会ではございませんので、今日今いただきましたご意見を参考に、平成 25 年度も議会報告会、また素案等々を作っていく形になると思いますので、今日のところは、ご意見をいただくということで、また改善点も含めていただきましたので、こういった形で今日は締めたいと思います。ありがとうございました。

○石川英之議長

ありがとうございました。それでは、続きまして協議題 2 のその他にうつります。これを機会に、何かご意見等々ありましたら、議会報告会とかしぼりはありません。何かある方いませんか。

○中川健一議員

さっき新美議員が、おでかけ議会をやったらどうだということをおっしゃっていたと思いますけども、おでかけ議会というか、本会議自体を、年に 1 回くらいはそういうこともやったらどうかなと。ここだけでやるのが能じゃないと思いますので、

是非そういうのも、本会議自体をやってみるというのも一度ご検討いただけるとありがたいなと思います。

○石川英之議長

議会となると、当局側も絡むことでありますので、新美議員が言ったのは、たぶんそういうことではないと、そういうことはやってないよねという話。

○新美保博議員

おでかけ議会にしても、本会議の面白いアイデアとしては面白いと思います。ただ、本会議を例えば出ていったところで、何を求めるわけ。場所を変えたら、自分たちが新鮮だっていうだけの話なのか、傍聴者を増やしたいのか、何を求めてそれを言うのか、あったら聞かせて。

○中川健一議員

やっぱりですね、亀崎とか乙川とか青山の方にでも出かければ、近所に来たから見ようかっていう方が、僕は、少なからずいると思うんですね。要は、なるべく傍聴に来ていただく、本会議を見ていただくということが目的ですので、地域に出かければ、そういう多少は刺激があつてお互いにいいかなと。そういう趣旨です。

○石川英之議長

わかりました。ご意見として承って、今後の議会運営委員会の方で、ちょっとどうなるかわかりませんが、そういう意見があつたということで、よろしくお願いします、他にありませんか。

【発言する者なし】

ないようですので、これをもちまして議員総会を閉会します。

午前 11 時 14 分 閉 会